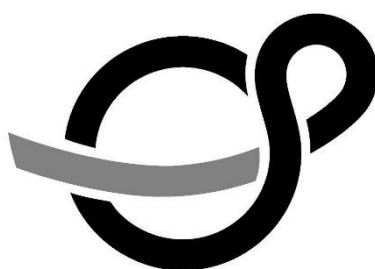


埼玉大学大学院理工学研究科
博士前期課程

学生募集要項
(第2次募集)
【令和9年4月入学】



Saitama University
埼玉大学

【出願期間】

令和8年10月7日(水)～10月9日(金)

【Application period】

October 7(Wed.) – October 9(Fri.), 2026

目 次

I. 【令和9年4月入学】埼玉大学大学院理工学研究科 博士前期課程 学生募集要項（第2次募集）	1
II. 【令和9年4月入学】埼玉大学大学院理工学研究科 博士前期課程 地球環境における科学技術の応用と融合 PG 学生募集要項（第2次募集）	8
III. 【令和9年4月入学】埼玉大学大学院理工学研究科 博士前期課程 地球環境における科学技術の応用と融合 PG 社会人入試 学生募集要項（第2次募集）	14
IV. 障がい等のある入学志願者の事前相談について	18
V. 入試情報の開示について	18
VI. 個人情報の保護について	19
VII. 性別情報の取扱いについて	19

本研究科所定の様式

- ・入学志願票・受験票・写真票
- ・収納証明書貼付用紙
- ・履歴書（外国人留学生用） — 外国人留学生は必ず提出
- ・志望調査書 — 地球環境における科学技術の応用と融合 PG 志願者のみ提出
- ・受験許可書
- ・入試情報開示請求書

〈以下、個別審査申請用〉

- ・入学試験出願資格個別審査申請書（様式1） — 個別審査申請者のみ提出
- ・経歴書（様式2） — 個別審査申請者のみ提出
- ・入学希望理由書・別紙（様式3） — 個別審査申請者のみ提出

※問い合わせ先

埼玉大学大学院理工学研究科支援室理工研係
〒338-8570 さいたま市桜区下大久保 255
TEL 048-858-3430

博士前期課程では、学部における専門基礎教育をもとに、専門分野のみならず基礎から応用にわたる広い関連知識の修得を目指す高度専門教育を通して、独創性のある国際的なレベルの研究者へ成長するための基礎を備えた人材又は国際的な知識基盤社会において指導的役割を果たすことができる高度専門職業人を育成することを教育研究上の目的としている。

The educational and research objective of the master's course is to build on the basic specialized education students received in their undergraduate course and provide advanced specialized education to equip students with knowledge ranging from basic knowledge to applied knowledge, in both their field of specialization and a wide range of other topics. In doing so, the course aims to develop personnel with the basic capabilities required to become researchers with a high degree of originality who can work internationally, and advanced professionals who can play an instructional role in an international knowledge-based society.

[入学者選抜の基本方針]

博士前期課程において専門的な教育や研究指導を受けて、高度な実験・実習を実施していくためには、自然科学や工学の各分野における基礎学力が必要とされる。そのため、学生の受け入れに際しては、学部教育で身につけた基礎学力の判定を目的とした、筆記試験（又は口述試験）を各専門教育プログラムで実施する。さらに、知識の応用力や勉学に対する姿勢が十分であるかを見るために個別面接試験を実施する。

[Basic Selection Policy]

Students must possess basic academic capabilities in a natural science or engineering field in order to handle the specialized education of the master's course and the advanced research and practical work conducted under research advisors. For this reason, a written exam (or an oral exam) is administered for each specialized educational program to determine the level of basic academic capabilities that students gained through their undergraduate study. Individual interviews are also conducted to verify that candidates are sufficiently able to apply their knowledge and possess the academic rigor that the course requires.

[求める学生像]

博士前期課程の各専門教育プログラムでは、次のような学生を受け入れ、教育・研究指導を行う。博士前期課程教育を受ける適性のある人を積極的に受け入れるため、複数の入学試験を実施する。

[Attributes of suitable candidates]

Below are the attributes of candidates who will be accepted for study and research in each specialized education program of the master's course. The Graduate School is committed to accepting students who are suited to the master's course. For this reason, multiple entrance exams are administered.

電気電子物理工学プログラム

1. 数学、物理、英語などの基礎学力及び電気電子物理工学に関する専門基礎知識を有する人
2. 電気・電子・光・情報通信・材料デバイス技術分野に興味を持ち、専門知識と能力を向上させ、独創的かつ先端的な研究開発を積極的に行う意欲を持つ人
3. 優れた人間性を備え、国際的に活躍し、社会へ貢献する意欲のある人

Electrical Engineering, Electronics, and Applied Physics Program

1. Candidates who possess basic academic capabilities in subjects such as mathematics, physics, and English, and possess basic specialized knowledge in electrical engineering, electronics, and applied physics

2. Candidates who are interested in the electrical engineering, electronics, optical engineering, information and communication technology, and material and device engineering fields, and are motivated to improve their specialized knowledge and capabilities and actively conduct original, advanced research and development
3. Candidates who possess excellent soft skills and are motivated to work internationally and contribute to society

地球環境における科学技術の応用と融合プログラム（融合教育プログラム）

融合教育プログラムでは、SDGs に代表される持続可能な社会の構築に貢献できる人材として、高い専門性と人文・社会科学を含めた幅広い知識を有する人材を育成するため、以下の 1～4 に関し積極的に学ぶことを望む学生を受け入れる。

1. 持続可能な開発目標（SDGs）の達成に強く興味を持ち、論理的思考を元に実践したい人
2. 特にエネルギー・資源循環・環境・生物多様性保全分野において SDGs の目標達成に貢献することを目指す人
3. 社会課題の解決法を探るために様々な立場とのパートナーシップを大切にして、幅広い知識を身に付けた技術者を目指す人
4. 国内のみならず諸外国の自然・文化の特性を理解しつつ、国際社会で活躍することを目指す人

Interdisciplinary Education Program for Applied Science and Technology in Global Environment (Interdisciplinary Education Program)

Our interdisciplinary education program accepts students who possess the following attributes and are actively motivated in their studies, with the aim of developing personnel who possess a high level of specialized knowledge and knowledge of a wide range of disciplines including humanities and social sciences and can contribute to the building of sustainable societies according to metrics such as the SDGs.

1. Candidates who are highly interested in achieving the Sustainable Development Goals (SDGs) and are seeking to apply logical thinking to this end
2. Candidates who aim to contribute to achieving the SDGs, particularly in the energy, resource recycling, environmental and biodiversity fields
3. Candidates who aspire to become an engineer who values partnerships with people in a variety of positions to explore solutions to social issues and possesses the wide-ranging knowledge required to do so
4. Candidates who aim to work internationally with an understanding of the natural and cultural characteristics of both Japan and other nations

I. 【令和9年4月入学】埼玉大学大学院理工学研究科 博士前期課程 学生募集要項（第2次募集）

1. 募集人員

専攻名	PG 名	募集人員	備考
数理電子情報専攻	電気電子物理工学 PG	若干名	募集人員に留学生を含む。

注) 希望する指導教員と出願前に十分に相談し出願してください。相談がない場合には、指導教員の定年退職等により受け入れできない場合があります。

2. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者とします。

- (1) 日本の大学を卒業した者及び令和9年3月までに卒業見込みの者
- (2) 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者及び令和9年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び令和9年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和9年3月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされる者に限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって(5)の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号参照）
- (9) 大学に3年以上在学し、所定の単位を優れた成績をもって修得したと本研究科が認めた者
- (10) 外国において学校教育における15年の課程を修了し、所定の単位を優れた成績をもって修得したと本研究科が認めた者
- (11) 外国の大学が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了し、所定の単位を優れた成績をもって修得したと本研究科が認めた者
- (12) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者であって、所定の単位を優れた成績をもって修得したと本研究科が認めたもの
- (13) 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、本研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- (14) 本研究科において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達したものと及び令和9年3月31日までに22歳に達するもの

※出願資格(9)～(14)により出願しようとする者は、7ページ「出願資格(9)～(14)の出願資格審査について」を参照してください。

なお、個別の出願資格審査を行うのであらかじめ申し出て、指定する書類を令和8年9月25日（金）までに本研究科に提出してください。

出願資格について疑問がある場合は、大学院理工学研究科支援室理工研係（TEL 048-858-3430）に照会してください。

3. 出願手続

(1) 出願方法

入学志願者は、下記の提出書類等を所定の期間内に持参又は郵送により提出してください。

なお、提出書類を郵送する場合は、簡易書留郵便として封筒の表に「大学院理工学研究科博士前期課程入学志願書類在中」と朱書きの上、締切日までに必着するよう送付してください。

(2) 出願期間

令和8年10月7日（水）～10月9日（金）まで。

受付時間は、9時00分～16時00分まで。

(3) 提出書類等

＜**本学に在籍している者（現在本学の研究生である者を含む。）**>

Formsでの登録期間は、令和8年10月7日（水）9時00分～10月9日（金）15時00分まで。

提出書類等	注意事項
受験票・写真票	本研究科所定の様式に必要な事項を記入してください。顔写真は、出願前3ヶ月以内に正面向、上半身、無帽で撮影し、加工を施していない鮮明な写真を指定欄に貼付してください。 <u>入学志願票の提出は必要ありません。</u>
卒業（見込）証明書	出願時に本学の理学部・工学部に在籍している者は <u>提出の必要はありません。（成績証明書の提出は必要です。）</u> 本学他学部 に在籍している者は提出してください。
成績証明書	全員提出してください。 本学に編入学している場合は、編入前の大学等の成績証明書も提出してください。
検定料	検定料：30,000 円 払込方法 コンビニエンスストアで払い込んでください。別紙案内書「コンビニエンスストアでの入学検定料払込方法」を参照してください。 ※出願期間を過ぎると受付できないので、早い時期（出願期間前でも可能）に検定料を振り込んでください。ただし、国費外国人留学生は、本学で発行される「国費外国人留学生証明書」を提出してください。これにより検定料が免除されます。 検定料の免除について 学資負担者が、令和8年4月1日から出願時までに災害救助法が適用された地域（災害救助法適用地域）で被災した場合で、地方公共団体が発行する全壊・流失・半壊の罹災証明を得られた志願者の検定料を免除します。 検定料の免除を希望する志願者は、検定料を払わず、本学ホームページから検定料免除願をプリントアウトし、必要事項を記入の上、罹災証明書（写しでも可）を添付して、出願書類と同時に提出してください。 【検定料免除願】 https://www.saitama-u.ac.jp/entrance/exam_info/exemption/ なお、出願時に罹災証明書を提出できない場合は、検定料を払い込んだ上、検定料免除願のみを提出してください。後日、罹災証明書を提出した場合に検定料を還付します。
収納証明書貼付用紙	「収納証明書」を貼付したものを提出してください。

TOEIC、TOEFL IELTS スコア等とその 写し	【TOEIC スコアを提出する方】 TOEIC IP オンラインスコアは無効とします（会場で受験したスコアを有効とします）。デジタル公式認定証の場合はプリントアウトしたものを2枚提出してください。 【TOEFL、IELTS スコアを提出する方】 会場で受験したスコア、オンラインスコアともに有効とします。 【本学の英語教育開発センターが実施する TOEIC IP・TOEFL ITP のスコアを提出する方】 各自の CampusSquare の該当ページをプリントアウトしたものを2枚提出してください。ただし、その場合も TOEIC IP オンラインスコアは無効とします。 <u>学生生活＞学生ポートフォリオ＞外部試験結果情報</u> 出願時又は学力検査時に提出してください。 原本のみ提出した場合は返却しません。 なお、一度提出したスコアを差し替えることはできないので注意してください。 <u>(注) TOEIC、TOEFL、IELTS スコア等の提出の免除について</u> <u>英語能力が十分高いことを公式の書類で証明できる（例、英語圏の大学を卒業している）場合には、TOEIC、TOEFL、IELTS スコア等の提出を免除される場合があります。必ず事前に大学院理工学研究科支援室理工研係（TEL 048-858-3430）に照会してください。</u>
受験票等送付用 封筒	定形（12cm×23.5cm）の封筒に志願者の郵便番号、住所及び宛名を明記し、110 円切手を貼付してください。
外国人留学生は、履歴書（本研究科所定の様式）及び在留カードの写しを提出してください。 なお、やむを得ず在留カードの写しを提出できない者は、その理由書及びパスポートの写しを提出してください。	
国費外国人留学生は、「国費外国人留学生証明書」（本学で発行）を添付してください。	

- (注意) ① 提出書類のうち外国語によるものは、日本語又は英語の訳をつけてください。
② 学位取得見込者については、学位取得後、学位授与証明書を提出してください。

出願は、一部 Forms を利用した手続きとなります。埼玉大学大学院理工学研究科のホームページに掲載する URL より出願情報を登録後、書類を提出してください。

埼玉大学＞埼玉大学理工学研究科＞受験生のみなさんへ＞入試情報＞博士前期課程（修士課程）
<https://www.saitama-u.ac.jp/rikogaku/admission/exam/masters.html>

<本学在籍中の者以外（他大学等に在籍している者、本学を卒業した者等）>

提出書類等	注意事項
入学志願票	本研究科所定の様式に必要事項を記入してください。
受験票・写真票	本研究科所定の様式に必要事項を記入してください。顔写真は、出願前3ヶ月以内に正面 向、上半身、無帽で撮影し、加工を施していない鮮明な写真を指定欄に貼付してください。
卒業（見込）証明 書	出身大学等の学長又は学部長が発行した卒業（見込）証明書を提出してください。
成績証明書	出身大学等の学長又は学部長が発行した成績証明書を提出してください。 ・大学に編入している場合は、編入前の大学等の成績証明書も提出してください。 ・高等専門学校の本科から専攻科に進学した場合は、本科の成績証明書も提出してください。

検定料	検定料：30,000 円 払込方法 コンビニエンスストアで払い込んでください。別紙案内書「コンビニエンスストアでの入学検定料払込方法」を参照してください。 ※出願期間を過ぎると受付できないので、早い時期（出願期間前でも可能）に検定料を振り込んでください。ただし、国費外国人留学生は、在籍大学で発行される「国費外国人留学生証明書」を提出してください。これにより検定料が免除されます。 検定料の免除について 学資負担者が、令和8年4月1日から出願時までには災害救助法が適用された地域（災害救助法適用地域）で被災した場合で、地方公共団体が発行する全壊・流失・半壊の罹災証明を得られた志願者の検定料を免除します。 検定料の免除を希望する志願者は、検定料を払わず、本学ホームページから検定料免除願をプリントアウトし、必要事項を記入の上、罹災証明書（写しでも可）を添付して、出願書類と同時に提出してください。 【検定料免除願】 https://www.saitama-u.ac.jp/entrance/exam_info/exemption/ なお、出願時に罹災証明書を提出できない場合は、検定料を払い込んだ上、検定料免除願のみを提出してください。後日、罹災証明書を提出した場合に検定料を還付します。
収納証明書貼付用紙	「収納証明書」を貼付したものを提出してください。
受験許可書	現在大学院在学中の者又は官公署及び会社等に在職中の者は、その所属長の受験許可書（本研究所定の様式による）を提出してください。ただし、本人が退職して入学する場合は、その旨を明記した文書を以て受験許可書に代えることができます。この場合は、入学時に退職証明書を提出してください。
TOEIC、TOEFL、IELTS スコア等とその写し	【TOEIC スコアを提出する方】 TOEIC IP オンラインスコアは無効とします（会場で受験したスコアを有効とします。）。デジタル公式認定証の場合はプリントアウトしたものを2枚提出してください。 【TOEFL、IELTS スコアを提出する方】 会場で受験したスコア、オンラインスコアともに有効とします。 出願時又は学力検査時に提出してください。 原本のみ提出した場合は返却しません。 なお、一度提出したスコアを差し替えることはできないので注意してください。 <u>（注）TOEIC、TOEFL、IELTS スコア等の提出の免除について</u> <u>英語能力が十分高いことを公式の書類で証明できる（例、英語圏の大学を卒業している）場合には、TOEIC、TOEFL、IELTS スコア等の提出を免除される場合があります。必ず事前に大学院理工学研究科支援室理工研係（TEL 048-858-3430）に照会してください。</u>
受験票等送付用封筒	定形(12cm×23.5cm)の封筒に志願者の郵便番号、住所及び宛名を明記し、110 円切手を貼付してください。
外国人留学生は、履歴書（本研究所定の様式）及び在留カードの写しを提出してください。 なお、やむを得ず在留カードの写しを提出できない者は、その理由書及びパスポートの写しを提出してください。 国費外国人留学生は、「国費外国人留学生証明書」（在籍大学で発行）を添付してください。	

- (注意) ① 提出書類のうち外国語によるものは、日本語又は英語の訳をつけてください。
 ② 学位取得見込者については、学位取得後、学位授与証明書を提出してください。

※TOEIC、TOEFL、IELTS スコアについて

PG 名	有効とする成績	提出時期 (いずれかの時期で提出してください。)	
		出願時	筆記試験時
電気電子物理工学 PG	3 年以内	○	○

(4) 書類提出先

〒338-8570 さいたま市桜区下大久保 255 埼玉大学大学院理工学研究科支援室理工研係

4. 出願にあたっての注意事項

- (1) 必要な書類等が全て揃っていない場合には受理できないので、出願の際には十分確認してください。
(2) 提出された書類等が受理された場合、出願の取り消し・書類の返却はいかなる理由があってもできません。ただし、TOEIC、TOEFL、IELTS の原本を提出した受験者には、面接終了後に原本を返却します。

また、既納の検定料は次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。

① 検定料の返還請求ができるもの

1. 検定料を払い込んだが出願しなかった（出願書類を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合
2. 検定料を誤って二重に払い込んだ場合
3. 出願時に検定料免除を申請し、後日、本学に罹災証明書が提出された場合

② 返還請求の方法

本学ホームページの入試情報ページ（「入試情報」→「入試に関するその他の情報はこちら」→「検定料等の返還について」）より返還請求書をプリントアウトし、必要事項を記入し、収納証明書の原本を添付の上、下記送付先へ、必要に応じて簡易書留等到着が確認できる方法で速やかに送付してください。（封筒には「検定料返還請求書在中」と朱書きしてください。）

なお、上記 3. の場合は、地方公共団体の発行する罹災証明書も添付してください。

【返還請求書】 <https://www.saitama-u.ac.jp/media/henkanseikyu.pdf>

送付先 〒338-8570 さいたま市桜区下大久保 255 埼玉大学財務部経理課出納担当

（返還は、返還請求書受理後 2 ヶ月程度かかる場合があります。）

- (3) 出願書類受付後は、いかなる理由があっても記載事項の変更は認めません。ただし、住所、電話番号に変更があった場合には、大学院理工学研究科支援室理工研係まで連絡してください。
(4) 提出書類等に虚偽の記載があった場合には、入学後でも入学を取り消すことがあります。
(5) 出願手続等に不明の点がある場合は、大学院理工学研究科支援室理工研係(TEL 048-858-3430)に照会してください。

5. 障がい等のある入学志願者の事前相談について（18 ページ参照）

6. 選抜方法等

- (1) 入学者の選抜は、PG で定める学力検査、TOEIC、TOEFL、IELTS、面接及び成績証明書を総合して行います。

成績証明書は基礎資料として利用します。

(2) 面接について

① 面接の形式

複数の試験委員による個人面接とします。

② 評価基準

研究に対する意欲や関心、専門分野の知識等について、総合的に評価します。

(3) 配点について

専攻名	PG 名	試験種別	筆記試験	英語 (注)	面接試験	合計
数理電子情報専攻	電気電子物理工学 PG	筆記試験	400	100	300	800

(注) 英語の評価は TOEIC、TOEFL、IELTS の成績を用いて行います。PG で指定された試験の成績を未提出の場合は 0 点として取り扱います。

(4) 検査科目及び日時

筆記試験及び面接試験

(◎印は、外国人留学生に対する措置を示す。)

数理電子情報専攻 (電気電子物理工学 PG)

期日	令和8年11月7日(土)	
時間	10:00~12:00	13:00~
試験※ 科目	専門基礎科目 (400点)	面接 (300点)
	数学(線形代数、ベクトル解析、微分積分、微分方程式)に関する2問に解答する。「電気回路」「電磁気学」「量子力学」に関する問題3問の内2問を選択し解答する。	

◎解答は、日本語又は英語で行う。

※「英語」の評価はTOEIC L&R (IPを含む)、TOEFL (PBT、iBT、ITP)、IELTSの成績を用いて行う。

有効とするスコアについての詳細は、3ページ及び4ページを参照すること。本学に在籍中の者とそれ以外の者で有効とするスコアが異なるので注意すること。本学への成績提出日の3年前より成績提出日までに実施された試験の成績を有効とする。受験者はTOEICの成績(公式認定書又はデジタル公式認定証)、TOEFLの成績(スコアレポート)、IELTSの成績(成績証明書)のいずれか及びそのコピーを出願時又は学力検査時に提出すること。原本は面接後返却するが、原本のみ提出した場合は返却しない。TOEIC、TOEFL、IELTSの成績は、英語100点満点に換算して評価する。

(5) 試験場

本学構内(さいたま市桜区下大久保255)

京浜東北線	北浦和駅下車	埼玉大学行バス約15分
埼京線	南与野駅下車	埼玉大学行バス約10分

※北浦和駅から埼玉大学方面行のバス停は、北浦和駅西口5番乗り場です。

※南与野駅から埼玉大学方面行のバス停は、「南与野駅北入口」及び「南与野駅西口」があります。南与野駅西口からの便は少ないので注意してください。

(6) 試験室の案内及び諸注意事項は、受験票と同時に送付します。なお、令和8年10月28日(水)までに受験票が未着の場合は、大学院理工学研究科支援室理工研係に照会してください。

7. 合格者の発表等

令和8年12月7日(月)10時00分に本学大学院理工学研究科の掲示板に合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者には大学院理工学研究科支援室理工研係で受験票と照合の上、合格通知書を交付します。

なお、他大学出身者で当日受領しなかった者には、郵送します。内部進学者は大学院理工学研究科支援室理工研係で受領してください。

8. 入学手続

(1) 入学手続 合格者に別途通知します。

(2) 必要書類 埼玉大学大学院理工学研究科(博士前期課程)受験票
その他本学の指定する書類等(合格者に通知します。)

(3) 納付金 入学科 282,000円〔予定額〕

※1 入学手続期間内に入学手続を行わない場合は、入学の意思がなく入学を辞退した者として取り扱います。

※2 授業料の予定額は、半期分321,480円(年額642,960円)です。詳細については合格者にお知らせします。

※3 在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されることがあります。

- ※4 入学時には上記入学料のほか、学生教育研究災害傷害保険など若干の諸経費が必要です。
- ※5 経済的理由等で入学料・授業料の納入が著しく困難であると認められる者については、選考の上、免除又は徴収猶予する制度があります。詳細については合格者にお知らせします。

(免除又は徴収猶予を申請した後に入学辞退を希望する場合は、入学料を納付する必要があります。)

- ※6 入学手続完了後、令和9年3月31日(水)17時00分までに入学辞退の意思表示をした場合、入学志願者が納付した学生教育研究災害傷害保険料などの返還に応じますが、納付した入学料は、いかなる理由があっても返還しません。

9. 奨学金について

日本学生支援機構奨学金の予約採用については合格者に通知する予定です。

10. 出願資格(9)～(14)の出願資格審査について

出願資格(9)～(14)により出願しようとする者については、個別の出願資格審査を行うので、あらかじめ本研究科へ申し出て、次の書類を令和8年9月25日(金)までに本研究科に提出してください。

- ① 入学試験出願資格個別審査申請書 …………… (指定様式 1)
- ② 経歴書 …………… (指定様式 2)
- ③ 入学希望理由書 …………… (指定様式 3)
- ④ 成績証明書
- ⑤ 卒業証明書又は在籍証明書(入学年月日及び在籍期間が記載されたもの)
- ⑥ 履歴書(外国人留学生)外国人留学生のみ提出
- ⑦ その他本研究科で必要と認めたもの

出願資格(14)に該当する者

次の①又は②の条件を満たすものです。

- ① 短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者やその他教育施設の修了者等であること。
- ② 大学教育修了までの学校教育の課程が16年に満たない国において大学教育を修了した者で、大学教育修了後、日本国内又は国外の大学若しくは大学共同利用機関等これに準ずる研究機関において研究生、研究員等として相当期間(おおむね1年以上とする)研究に従事した経験を有する者であること。

入学試験出願資格認定審査は、本研究科において行い、これが終了するまで出願書類の受理を保留します。

11. 長期履修学生制度について

職業を有しているなどの理由により、標準の修業年限(2年間)での修了が難しい場合、その修業年限を延長し、一定の期間(最長4年間)内で計画的にカリキュラムを履修することにより、修了することができる「長期履修学生制度」を適用することができます。

この「長期履修学生制度」を申請する場合は、入学手続の際に申請をする必要があります。

12. 緊急時の連絡の方法について

自然災害などにより試験の予定通りの実施が危ぶまれるときは、試験実施日前日の16時00分までに試験実施の可否などについて、大学院理工学研究科ホームページに公表しますので確認してください。

<https://www.saitama-u.ac.jp/rikogaku/admission/exam/masters.html>

13. 安全保障輸出管理について

埼玉大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき「国立大学法人埼玉大学安全保障輸出管理規則」を定め、技術の提供及び貨物の輸出の観点から、学生の受入れに際し厳格な審査を実施しています。

外国人留学生及び特定類型該当者(外国政府の影響下にある居住者など)が、規制事項に該当すると判断された場合は、合格後であっても入学を許可しないことや、入学後の研究活動を制限することがあります。該当の恐れがある志願者は、出願前に必ず指導予定教員等へ相談してください。なお、詳細については、以下の本学安全保障輸出管理規則を参照してください。

<https://www.saitama-u.ac.jp/houki/houki-n/reg-n/2-3-16.pdf>

II. 【令和9年4月入学】埼玉大学大学院理工学研究科 博士前期課程 地球環境における科学技術の応用と融合 PG 学生募集要項（第2次募集）

近代工業社会の展開に伴って物質的な豊かさと利便性を追求してきた人間の活動は、自然の許容力の範囲内で生きる伝統的社会の規範を越え、予想を上回る広範囲の環境破壊をもたらすという深刻な問題を引き起こしている。また、その一方では生活様式や社会様式の変化により、人間生活環境にも改善すべき多くの課題が出現している。このような社会情勢のもと、実社会の多様な部門において高度な研究能力に併せ、研究の急速な進展にも対処することができる十分な基礎学力と広域的視野を具えた指導的な役割を果たし得る人材が求められるようになった。

本研究科博士前期課程はこのような社会的要請に応え、SDGsに密接に関連する世界規模の課題に対して理工のみならず文理融合教育による講義と専門分野の研究活動を通して高い専門性と幅広い知識を備えたグローバル人材を育成するものである。

以上の趣旨に基づき、以下の入学者選抜による学生募集を実施します。

1. 募集人員

専攻名	PG名	募集人員	備考
専攻共通	地球環境における科学技術の応用と融合 PG	若干名	募集人員に留学生を含む。

注) 希望する指導教員と出願前に十分に相談し出願してください。相談がない場合には、指導教員の定年退職等により受け入れできない場合があります。

2. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者とします。

- (1) 日本の大学を卒業した者及び令和9年3月までに卒業見込みの者
- (2) 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者及び令和9年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び令和9年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和9年3月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされる者に限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって(5)の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号参照）
- (9) 大学に3年以上在学し、所定の単位を優れた成績をもって修得したと本研究科が認めた者
- (10) 外国において学校教育における15年の課程を修了し、所定の単位を優れた成績をもって修得したと本研究科が認めた者
- (11) 外国の大学が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了し、所定の単位を優れた成績をもって修得したと本研究科が認めた者
- (12) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者であって、所定の単位を優れた成績をもって修得したと本研究科が認めたもの
- (13) 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、本研究科において、大学

- 院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- (14) 本研究科において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達したものと及び令和9年3月31日までに22歳に達するもの

※出願資格(9)～(14)により出願しようとする者は、7ページ「出願資格(9)～(14)の出願資格審査について」を参照してください。

なお、個別の出願資格審査を行うのであらかじめ申し出て、指定する書類を令和8年9月25日(金)までに本研究科に提出してください。

出願資格について疑問がある場合は、大学院理工学研究科支援室理工研係(TEL 048-858-3430)に照会してください。

3. 出願手続

(1) 出願方法

入学志願者は、下記の提出書類等を所定の期間内に持参又は郵送により提出してください。

なお、提出書類を郵送する場合は、簡易書留郵便として封筒の表に「大学院理工学研究科博士前期課程入学志願書類在中」と朱書きの上、締切日までに必着するよう送付してください。

(2) 出願期間

令和8年10月7日(水)～10月9日(金)まで。

受付時間は、9時00分～16時00分まで。

(3) 提出書類等

＜**本学に在籍している者(現在本学の研究生である者を含む。)**＞

Formsでの登録期間は、令和8年10月7日(水)9時00分～10月9日(金)15時00分まで。

提出書類等	注意事項
受験票・写真票	本研究科所定の様式に必要事項を記入してください。顔写真は、出願前3ヶ月以内に正面向、上半身、無帽で撮影し、加工を施していない鮮明な写真を指定欄に貼付してください。 <u>入学志願票の提出は必要ありません。</u>
卒業(見込)証明書	出願時に本学の理学部・工学部に在籍している者は<u>提出の必要はありません。(成績証明書の提出は必要です。)</u> 本学他学部 に在籍している者、過去に本学を卒業した者は提出してください。
成績証明書	全員提出してください。 本学に編入学している場合は、編入前の大学等の成績証明書も提出してください。
検定料	検定料：30,000円 払込方法 コンビニエンスストアで払い込んでください。別紙案内書「コンビニエンスストアでの入学検定料払込方法」を参照してください。 ※出願期間を過ぎると受付できないので、早い時期(出願期間前でも可能)に検定料を振り込んでください。ただし、国費外国人留学生は、本学で発行される「国費外国人留学生証明書」を提出してください。これにより検定料が免除されます。 検定料の免除について 学資負担者が、令和8年4月1日から出願時までには災害救助法が適用された地域(災害救助法適用地域)で被災した場合で、地方公共団体が発行する全壊・流失・半壊の罹災証明を得られた志願者の検定料を免除します。 検定料の免除を希望する志願者は、検定料を払わず、本学ホームページから検定料免除願をプリントアウトし、必要事項を記入の上、罹災証明書(写しでも可)を添付して、出願書類と同時に提出してください。 【検定料免除願】https://www.saitama-u.ac.jp/entrance/exam_info/exemption/ なお、出願時に罹災証明書を提出できない場合は、検定料を払い込んだ上、検定料免除願のみを提出してください。後日、罹災証明書を提出した場合に検定料を還付します。

収納証明書貼付用紙	「収納証明書」を貼付したものを提出してください。
志望調査書	本研究科所定の様式に記入の上、提出してください。
受験票等送付用封筒	定形(12cm×23.5cm)の封筒に志願者の郵便番号、住所及び宛名を明記し、110 円切手を貼付してください。
外国人留学生は、履歴書（本研究科所定の様式）及び在留カードの写しを提出してください。 なお、やむを得ず在留カードの写しを提出できない者は、その理由書及びパスポートの写しを提出してください。	
国費外国人留学生は、「国費外国人留学生証明書」（本学で発行）を添付してください。	

- (注意) ① 提出書類のうち外国語によるものは、日本語又は英語の訳をつけてください。
 ② 学位取得見込者については、学位取得後、学位授与証明書を提出してください。

出願は、一部 Forms を利用した手続きとなります。埼玉大学大学院理工学研究科のホームページに掲載する URL より出願情報を登録後、書類を提出してください。

埼玉大学＞埼玉大学理工学研究科＞受験生のみなさんへ＞入試情報＞博士前期課程（修士課程）
<https://www.saitama-u.ac.jp/rikogaku/admission/exam/masters.html>

<本学在籍中の者以外（他大学等に在籍している者、本学を卒業した者等）>

提出書類等	注意事項
入学志願票	本研究科所定の様式に必要事項を記入してください。
受験票・写真票	本研究科所定の様式に必要事項を記入してください。顔写真は、出願前 3 ヶ月以内に正面向、上半身、無帽で撮影し、加工を施していない鮮明な写真を指定欄に貼付してください。
卒業(見込)証明書	出身大学等の学長又は学部長が発行した卒業(見込)証明書を提出してください。
成績証明書	出身大学等の学長又は学部長が発行した成績証明書を提出してください。 ・大学に編入学している場合は、編入前の大学等の成績証明書も提出してください。 ・高等専門学校の本科から専攻科に進学した場合は、本科の成績証明書も提出してください。
検定料	検定料：30,000 円 払込方法 コンビニエンスストアで払い込んでください。別紙案内書「コンビニエンスストアでの入学検定料払込方法」を参照してください。 ※出願期間を過ぎると受付できないので、早い時期（出願期間前でも可能）に検定料を振り込んでください。ただし、国費外国人留学生は、在籍大学で発行される「国費外国人留学生証明書」を提出してください。これにより検定料が免除されます。 検定料の免除について 学資負担者が、令和 8 年 4 月 1 日から出願時まで災害救助法が適用された地域（災害救助法適用地域）で被災した場合で、地方公共団体が発行する全壊・流失・半壊の罹災証明を得られた志願者の検定料を免除します。 検定料の免除を希望する志願者は、検定料を払わず、本学ホームページ上から検定料免除願をプリントアウトし、必要事項を記入の上、罹災証明書（写しでも可）を添付して、出願書類と同時に提出してください。 【検定料免除願】 https://www.saitama-u.ac.jp/entrance/exam_info/exemption/ なお、出願時に罹災証明書を提出できない場合は、検定料を払い込んだ上、検定料免除願のみを提出してください。後日、罹災証明書を提出した場合に検定料を還付します。
収納証明書貼付用紙	「収納証明書」を貼付したものを提出してください。
志望調査書	本研究科所定の様式に記入の上、提出してください。

受験許可書	現在大学院在学中の者又は官公署及び会社等に在職中の者は、その所属長の受験許可書（本研究科所定の様式による）を提出してください。ただし、本人が退職して入学する場合は、その旨を明記した文書を以て受験許可書に代えることができます。この場合は、入学時に退職証明書を提出してください。
受験票等送付用封筒	定形(12cm×23.5cm)の封筒に志願者の郵便番号、住所及び宛名を明記し、110 円切手を貼付してください。
外国人留学生は、履歴書（本研究科所定の様式）及び在留カードの写しを提出してください。 なお、やむを得ず在留カードの写しを提出できない者は、その理由書及びパスポートの写しを提出してください。	
国費外国人留学生は、「国費外国人留学生証明書」（在籍大学で発行）を添付してください。	

- (注意) ① 提出書類のうち外国語によるものは、日本語又は英語の訳をつけてください。
 ② 学位取得見込者については、学位取得後、学位授与証明書を提出してください。

(4) 書類提出先

〒338-8570 さいたま市桜区下大久保 255 埼玉大学大学院理工学研究科支援室理工研係

4. 出願にあたっての注意事項

- (1) 必要な書類等が全て揃っていない場合には受理できないので、出願の際には十分確認してください。
- (2) 提出された書類等が受理された場合、出願の取り消し・書類の返却はいかなる理由があってもできません。また、既納の検定料は次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。

① 検定料の返還請求ができるもの

1. 検定料を払い込んだが出願しなかった（出願書類を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合
2. 検定料を誤って二重に払い込んだ場合
3. 出願時に検定料免除を申請し、後日、本学に罹災証明書が提出された場合

② 返還請求の方法

本学ホームページの入試情報ページ（「入試情報」→「入試に関するその他の情報はこちら」→「検定料等の返還について」）より返還請求書をプリントアウトし、必要事項を記入し、収納証明書の原本を添付の上、下記送付先へ、必要に応じて簡易書留等到着が確認できる方法で速やかに送付してください。（封筒には「検定料返還請求書在中」と朱書きしてください。）

なお、上記 3. の場合は、地方公共団体の発行する罹災証明書も添付してください。

【返還請求書】<https://www.saitama-u.ac.jp/media/henkanseikyu.pdf>

送付先 〒338-8570 さいたま市桜区下大久保 255 埼玉大学財務部経理課出納担当

（返還は、返還請求書受理後 2 ヶ月程度かかる場合があります。）

- (3) 出願書類受付後は、いかなる理由があっても記載事項の変更は認めません。ただし、住所、電話番号に変更があった場合には、大学院理工学研究科支援室理工研係まで連絡してください。
- (4) 提出書類等に虚偽の記載があった場合には、入学後でも入学を取り消すことがあります。
- (5) 出願手続等に不明の点がある場合は、大学院理工学研究科支援室理工研係(TEL 048-858-3430)に照会してください。

5. 障がい等のある入学志願者の事前相談について（18 ページ参照）

6. 選抜方法等

- (1) 入学者の選抜は、学力検査（口述試験）を行い、成績証明書は基礎資料として利用します。
- (2) 口述試験の配点は 100 点とします。

(3) 学力検査

区分	日時	試験内容
口述試験	令和8年11月7日(土) 時間等詳細については後 日連絡	1) 卒業研究(卒業研究を行っていない場合は現在興味を持って いる研究)の内容及び博士前期課程で取り組みたい研究テーマ について4ページのPDFにまとめ、Acrobat Readerを用いて 5分以内の発表を行う。その内容について口頭試問を行う。 2) 志望動機、将来の展望、研究に対する意欲や関心について質 疑応答を行う。

(4) 試験場

本学構内(さいたま市桜区下大久保255)

京浜東北線	北浦和駅下車	埼玉大学行バス約15分
埼京線	南与野駅下車	埼玉大学行バス約10分

※北浦和駅から埼玉大学方面行のバス停は、北浦和駅西口5番乗り場です。

※南与野駅から埼玉大学方面行のバス停は、「南与野駅北入口」及び「南与野駅西口」があります。南与野駅西口からの便は少ないので注意してください。

(5) 試験室の案内及び諸注意事項は、受験票と同時に送付します。なお、令和8年10月28日(水)までに受験票が未着の場合は、大学院理工学研究科支援室理工研係に照会してください。

7. 合格者の発表等

令和8年12月7日(月)10時00分に本学大学院理工学研究科の掲示板に合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者には大学院理工学研究科支援室理工研係で受験票と照合の上、合格通知書を交付します。

なお、他大学出身者等で当日受領しなかった者には、郵送します。内部進学者は大学院理工学研究科支援室理工研係で受領してください。

8. 入学手続

(1) 入学手続 合格者に別途通知します。

(2) 必要書類 埼玉大学大学院理工学研究科(博士前期課程)受験票
その他本学の指定する書類等(合格者に通知します。)

(3) 納付金 入学金 282,000円〔予定額〕

※1 入学手続期間内に入学手続を行わない場合は、入学の意思がなく入学を辞退した者として取り扱いします。

※2 授業料の予定額は、半期分321,480円(年額642,960円)です。詳細については合格者にお知らせします。

※3 在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されることがあります。

※4 入学時には上記入学金のほか、学生教育研究災害傷害保険など若干の諸経費が必要です。

※5 経済的理由等で入学金・授業料の納入が著しく困難であると認められる者については、選考の上、免除又は徴収猶予する制度があります。詳細については合格者にお知らせします。

(免除又は徴収猶予を申請した後に入学辞退を希望する場合は、入学金を納付する必要があります。)

※6 入学手続完了後、令和9年3月31日(水)17時00分までに入学辞退の意思表示をした場合、入学志願者が納付した学生教育研究災害傷害保険料などの返還に応じますが、納付した入学金は、いかなる理由があっても返還しません。

9. 奨学金について

日本学生支援機構奨学金の予約採用については合格者に通知する予定です。

10. 長期履修学生制度について

職業を有しているなどの理由により、標準の修業年限（２年間）での修了が難しい場合、その修業年限を延長し、一定の期間（最長４年間）内で計画的にカリキュラムを履修することにより、修了することができる「長期履修学生制度」を適用することができます。

この「長期履修学生制度」を申請する場合は、入学手続の際に申請をする必要があります。

11. 緊急時の連絡の方法について

自然災害などにより試験の予定通りの実施が危ぶまれるときは、試験実施日前日の 16 時 00 分までに試験実施の可否などについて、大学院理工学研究科ホームページに公表しますので確認してください。

<https://www.saitama-u.ac.jp/rikogaku/admission/exam/masters.html>

12. 安全保障輸出管理について

埼玉大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき「国立大学法人埼玉大学安全保障輸出管理規則」を定め、技術の提供及び貨物の輸出の観点から、学生の受入に際し厳格な審査を実施しています。

外国人留学生及び特定類型該当者（外国政府の影響下にある居住者など）が、規制事項に該当すると判断された場合は、合格後であっても入学を許可しないことや、入学後の研究活動を制限することがあります。該当の恐れがある志願者は、出願前に必ず指導予定教員等へ相談してください。なお、詳細については、以下の本学安全保障輸出管理規則を参照してください。

<https://www.saitama-u.ac.jp/houki/houki-n/reg-n/2-3-16.pdf>

Ⅲ. 【令和9年4月入学】埼玉大学大学院理工学研究科 博士前期課程 地球環境における科学技術の応用と融合 PG 社会人入試 学生募集要項（第2次募集）

近代工業社会の展開に伴って物質的な豊かさと利便性を追求してきた人間の活動は、自然の許容力の範囲内で生きる伝統的社会の規範を越え、予想を上回る広範囲の環境破壊をもたらすという深刻な問題を引き起こしている。また、その一方では生活様式や社会様式の変化により、人間生活環境にも改善すべき多くの課題が出現している。このような社会情勢のもと、実社会の多様な部門において高度な研究能力に併せ、研究の急速な進展にも対処することができる十分な基礎学力と広域的視野を具えた指導的な役割を果たし得る人材が求められるようになった。

本研究科博士前期課程はこのような社会的要請に応え、各種の研究機関、企業等において活躍中の現職の社会人を大学院に受け入れる道を開くと共に、教育・研究面における大学と社会との交流を一層深めようとするものである。

以上の趣旨に基づき、専門的な研究能力を有する社会人に対し、以下の入学者選抜による学生募集を実施します。

1. 募集人員

専攻名	PG 名	募集人員	備考
専攻共通	地球環境における科学技術の応用と融合 PG	若干名	募集人員に留学生を含む。

注) 希望する指導教員と出願前に十分に相談し出願してください。相談がない場合には、指導教員の定年退職等により受け入れできない場合があります。

2. 出願資格

現に所属する企業等に1年以上正規職員として勤務し、入学後もその身分を有する者で、所属長から受験許可を受けた社会人技術者、研究者で次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 日本の大学を卒業した者
- (2) 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号参照）
- (6) 本研究科において、個別の出願資格審査を行い、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達したもの（【注】参照）

【注】出願資格(6)により出願しようとする者については、個別の出願資格審査を行うので、あらかじめ本研究科へ申し出て、次の書類を令和8年9月25日（金）までに本研究科に提出してください。

- ① 入学試験出願資格個別審査申請書 ……………（指定様式1）
- ② 経歴書 ……………（指定様式2）
- ③ 入学希望理由書 ……………（指定様式3）
- ④ 成績証明書
- ⑤ 卒業証明書又は在籍証明書（入学年月日及び在籍期間が記載されたもの）
- ⑥ 履歴書（外国人留学生）外国人留学生のみ提出
- ⑦ その他本学研究科で必要と認めたもの

※出願資格(6)に定める「本研究科において、個別の出願資格審査を行い、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者」の範囲は、次の①又は②の条件を満たす者です。

- ①短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業生やその他教育施設の修了者等であること。
- ②大学教育修了までの学校教育の課程が16年に満たない国において大学教育を修了した者で、大学教育修了後、日本国内若しくは国外の大学又は大学共同利用機関等これに準ずる研究機関において研究生、研究員等として相当期間（おおむね1年以上とする）研究に従事した経験を有する者であること。

※「社会人入試」とは、企業等に勤務している者を、所属長からの受験許可に基づいて選抜する制度のことであり、受験許可を行う企業等は、在職のままの修学について応諾することを前提としている。

入学試験出願資格認定審査は、本研究科において行い、これが終了するまで出願書類の受理を保留します。

出願資格について疑問がある場合は、大学院理工学研究科支援室理工研係（TEL 048-858-3430）に照会してください。

3. 出願手続

(1) 出願方法

入学志願者は、下記の提出書類等を所定の期間内に持参又は郵送により提出してください。

なお、提出書類を郵送する場合は、簡易書留郵便として封筒の表に「大学院理工学研究科博士前期課程入学志願書類在中」と朱書きの上、締切日までに必着するよう送付してください。

(2) 出願期間

令和8年10月7日（水）～10月9日（金）まで。

受付時間は、9時00分～16時00分まで。

(3) 提出書類等

提出書類等	注意事項
入学志願票	本研究科所定の様式に必要事項を記入してください。
受験票・写真票	本研究科所定の様式に必要事項を記入してください。顔写真は、出願前3ヶ月以内に正面向、上半身、無帽で撮影し、加工を施していない鮮明な写真を指定欄に貼付してください。
卒業証明書・成績証明書	出身大学等の学長又は学部長が発行した卒業証明書及び成績証明書を提出してください。
検定料	検定料：30,000 円 払込方法 コンビニエンスストアで払い込んでください。別紙案内書「コンビニエンスストアでの入学検定料払込方法」を参照してください。 ※出願期間を過ぎると受付できないので、早い時期（出願期間前でも可能）に検定料を振り込んでください。 検定料の免除について 学資負担者が、令和8年4月1日から出願時までに災害救助法が適用された地域（災害救助法適用地域）で被災した場合で、地方公共団体が発行する全壊・流失・半壊の罹災証明を得られた志願者の検定料を免除します。 検定料の免除を希望する志願者は、検定料を払わず、本学ホームページ上から検定料免除願をプリントアウトし、必要事項を記入の上、罹災証明書（写しでも可）を添付して、出願書類と同時に提出してください。 【検定料免除願】https://www.saitama-u.ac.jp/entrance/exam_info/exemption/ なお、出願時に罹災証明書を提出できない場合は、検定料を払い込んだ上、検定料免除願のみを提出してください。後日、罹災証明書を提出した場合に検定料を還付します。
収納証明書貼付用紙	「収納証明書」を貼付したものを提出してください。
志望調査書	本研究科所定の様式に記入の上、提出してください。
受験許可書	本研究科所定の用紙に所属長が記入の上、提出してください。
受験票等送付用封筒	定形(12cm×23.5cm)の封筒に志願者の郵便番号、住所及び宛名を明記し、110 円切手を貼付してください。
外国人留学生は、履歴書（本研究科所定の様式）及び在留カードの写しを提出してください。 なお、やむを得ず在留カードの写しを提出できない者は、その理由書及びパスポートの写しを提出してください。	

（注意） 提出書類のうち外国語によるものは、日本語又は英語の訳をつけてください。

(4) 書類提出先

〒338-8570 さいたま市桜区下大久保 255 埼玉大学大学院理工学研究科支援室理工研係

4. 出願にあたっての注意事項

- (1) 必要な書類等が全て揃っていない場合には受理できないので、出願の際には十分確認してください。
- (2) 提出された書類等が受理された場合、出願の取り消し・書類の返却はいかなる理由があってもできません。また、既納の検定料は次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。

① 検定料の返還請求ができるもの

1. 検定料を払い込んだが出願しなかった（出願書類を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合
2. 検定料を誤って二重に払い込んだ場合
3. 出願時に検定料免除を申請し、後日、本学に罹災証明書が提出された場合

② 返還請求の方法

本学ホームページの入試情報ページ（「入試情報」→「入試に関するその他の情報はこちら」→「検定料等の返還について」）より返還請求書をプリントアウトし、必要事項を記入し、収納証明書の原本を添付の上、下記送付先へ、必要に応じて簡易書留等到着が確認できる方法で速やかに送付してください。（封筒には「検定料返還請求書在中」と朱書きしてください。）

なお、上記 3. の場合は、地方公共団体の発行する罹災証明書も添付してください。

【返還請求書】<https://www.saitama-u.ac.jp/media/henkanseikyu.pdf>

送付先 〒338-8570 さいたま市桜区下大久保 255 埼玉大学財務部経理課出納担当

（返還は、返還請求書受理後 2 ヶ月程度かかる場合があります。）

- (3) 出願書類受付後は、いかなる理由があっても記載事項の変更は認めません。ただし、住所、電話番号に変更があった場合には、大学院理工学研究科支援室理工研係まで連絡してください。
- (4) 提出書類等に虚偽の記載あった場合には、入学後でも入学を取り消すことがあります。
- (5) 出願手続等に不明の点がある場合は、大学院理工学研究科支援室理工研係(TEL 048-858-3430)に照会してください。

5. 障がい等のある入学志願者の事前相談について（18 ページ参照）

6. 選抜方法等

- (1) 入学者の選抜は、学力検査（口述試験）、出身大学の卒業証明書、成績証明書及び受験許可書を総合して行います。

- (2) 口述試験の配点は 100 点とします。

- (3) 学力検査

区分	日時	試験内容
口述試験	令和 8 年 11 月 7 日（土） 時間等詳細については後日連絡	1) 卒業研究(卒業研究を行っていない場合は現在興味を持っている研究)の内容及び博士前期課程で取り組みたい研究テーマについて 4 ページの PDF にまとめ、Acrobat Reader を用いて 5 分以内の発表を行う。その内容について口頭試問を行う。 2) 志望動機、将来の展望、研究に対する意欲や関心について質疑応答を行う。

- (4) 試験場

本学構内（さいたま市桜区下大久保 255）

京浜東北線	北 浦 和 駅 下 車	埼玉大学行バス約 15 分
埼 京 線	南 与 野 駅 下 車	埼玉大学行バス約 10 分

※北浦和駅から埼玉大学方面行のバス停は、北浦和駅西口 5 番乗り場です。

※南与野駅から埼玉大学方面行のバス停は、「南与野駅北入口」及び「南与野駅西口」があります。南与野駅西口からの便は少ないので注意してください。

- (5) 試験室の案内及び諸注意事項は、受験票と同時に送付します。なお、令和 8 年 10 月 28 日（水）までに受験票が未着の場合は、大学院理工学研究科支援室理工研係に照会してください。

7. 合格者の発表等

令和8年12月7日（月）10時00分に本学大学院理工学研究科の掲示板に合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者には大学院理工学研究科支援室理工研係で受験票と照合の上、合格通知書を交付します。
なお、当日受領しなかった者には、郵送します。

8. 入学手続

- (1) 入学手続 合格者に別途通知します。
- (2) 必要書類 埼玉大学大学院理工学研究科（博士前期課程）受験票
その他本学の指定する書類等（合格者に通知します。）
- (3) 納付金 入学料 282,000 円〔予定額〕

- ※1 入学手続期間内に入学手続を行わない場合は、入学の意思がなく入学を辞退した者として取り扱います。
- ※2 授業料の予定額は、半期分 321,480 円（年額 642,960 円）です。詳細については合格者にお知らせします。
- ※3 在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されることがあります。
- ※4 入学時には上記入学料のほか、学生教育研究災害傷害保険など若干の諸経費が必要です。
- ※5 経済的理由等で入学料・授業料の納入が著しく困難であると認められる者については、選考の上、免除又は徴収猶予する制度があります。詳細については合格者にお知らせします。
（免除又は徴収猶予を申請した後に入学辞退を希望する場合は、入学料を納付する必要があります。）
- ※6 入学手続完了後、令和9年3月31日（水）17時00分までに入学辞退の意思表示をした場合、入学志願者が納付した学生教育研究災害傷害保険料などの返還に応じますが、納付した入学料は、いかなる理由があっても返還しません。

9. 長期履修学生制度について

職業を有しているなどの理由により、標準の修業年限（2年間）での修了が難しい場合、その修業年限を延長し、一定の期間（最長4年間）内で計画的にカリキュラムを履修することにより、修了することができる「長期履修学生制度」を適用することができます。

この「長期履修学生制度」を申請する場合は、入学手続の際に申請をする必要があります。

10. 緊急時の連絡の方法について

自然災害などにより試験の予定通りの実施が危ぶまれるときは、試験実施日前日の16時00分までに試験実施の可否などについて、大学院理工学研究科ホームページに公表しますので確認してください。

<https://www.saitama-u.ac.jp/rikogaku/admission/exam/masters.html>

11. 安全保障輸出管理について

埼玉大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき「国立大学法人埼玉大学安全保障輸出管理規則」を定め、技術の提供及び貨物の輸出の観点から、学生の受入れに際し厳格な審査を実施しています。

外国人留学生及び特定類型該当者（外国政府の影響下にある居住者など）が、規制事項に該当すると判断された場合は、合格後であっても入学を許可しないことや、入学後の研究活動を制限することがあります。該当の恐れがある志願者は、出願前に必ず指導予定教員等へ相談してください。なお、詳細については、以下の本学安全保障輸出管理規則を参照してください。

<https://www.saitama-u.ac.jp/houki/houki-n/reg-n/2-3-16.pdf>

Ⅳ. 障がい等のある入学志願者の事前相談について

本学に出願を希望する者で、身体等に障がいがあり、受験上及び修学上特別な配慮を必要とする場合は、出願に先立ち、次により本学へ事前相談の申請を行ってください。

なお、不明な点又は事前相談の締切日までに申請することができない場合には以下連絡先までご相談ください。

連絡先：〒338-8570 さいたま市桜区下大久保 255 埼玉大学大学院理工学研究科支援室理工研係
TEL 048-858-3430（平日 9 時 00 分～17 時 00 分）

申請書提出期限：令和 8 年 9 月 25 日（金）

(1) 申請方法

申請する場合は所定の書式（※）に診断書（発行後 6 ヶ月以内の原本）又は身体障害者手帳の写しを添えて提出してください。

提出された書類に基づき、希望する配慮について審査を行います。なお、必要な場合は、本研究科において当該志願者又は保護者若しくはその立場を代弁しうる者との面談をすることがあります。

（※）申請書は、本学ホームページからダウンロードして入手してください。

https://www.saitama-u.ac.jp/entrance/exam_info/consultation/

(2) この申請で受験許可を得た場合は、出願書類を提出の際、その旨を上記連絡先に連絡してください。

(3) この申請で受験許可を得て、出願を辞退若しくは出願したが受験しない場合は、速やかに上記の連絡先に連絡してください。

Ⅴ. 入 試 情 報 の 開 示 に つ い て

埼玉大学大学院理工学研究科博士前期課程では、入試情報について、次のとおり開示・提供します。

○ 請求に基づき開示する情報

入試成績の合計点

○ 開示請求方法

・対 象 者 本入試を受験し、**不合格となった者**に限ります。

・請求方法 郵送の場合は、「埼玉大学大学院理工学研究科（博士前期課程）入試情報開示請求書」（募集要項に添付）、返信用封筒（本人の住所、氏名を明記し、簡易書留郵便 460 円分の切手を貼った長形 3 号封筒）及び受験票を同封してください。
窓口の場合は、「埼玉大学大学院理工学研究科（博士前期課程）入試情報開示請求書」（募集要項に添付）を提出してください。その際、受験票を提示してください。

・請求期間 令和 8 年 12 月 14 日（月）～12 月 15 日（火）

・請 求 先 〒338-8570 さいたま市桜区下大久保 255
埼玉大学大学院理工学研究科支援室理工研係
（注）郵送の場合は「大学院入試情報開示請求」と朱書きしてください。

・開示方法 請求期間終了後に郵送又は窓口で交付します。なお、交付日は請求時に連絡します。
窓口で交付を受ける際は、受験票を提示してください。

VI. 個人情報の保護について

個人情報については、「個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人埼玉大学の保有する個人情報の保護に関する規則」に基づいて取り扱います。

- (1) 出願にあたって知り得た氏名、住所その他の個人情報、入学者選抜に用いた出願書類及び試験成績は、以下の目的のために利用します。
 - ① 入学者選抜（出願処理、選抜実施）、合格者発表、入学手続業務
 - ② 入学者のみ、教務関連（学籍、修学指導等）、学生支援関係（健康管理、就職支援、授業料免除、奨学金申請等）、授業料徴収に関する業務
 - ③ 入学者選抜及び広報に関する調査・分析・検討
- (2) 上記(1)の各種業務での利用にあたっては、本学より一部の業務の委託を受けた業者（以下「受託業者」という。）において行うことがあります。ついては、受託業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、知り得た個人情報の全部又は一部を提供します。

VII. 性別情報の取扱いについて

本学の出願書類には、公的な統計調査等に必要な情報であるため、現時点では性別（男女いずれか）の記入が必要です。本学では自認する性別の記入が可能ですが、他の出願書類（性別の記載があるものに限る。）に記載の性別は一致している必要があります。

なお、入学手続書類や入学後に本学へ提出する書類においても性別の記入が必要な場合がありますが、その際も自認する性別を記入できます。本学では戸籍との照合や本学が発行する証明書等への性別の記載は行っていないません。

埼玉大学大学院理工学研究科

〒338-8570 さいたま市桜区下大久保 255 TEL 048-858-3430